



クオリティインディケーター(QI)成果報告 〔小児外科〕

指標名

腹腔鏡下手術比率の上昇

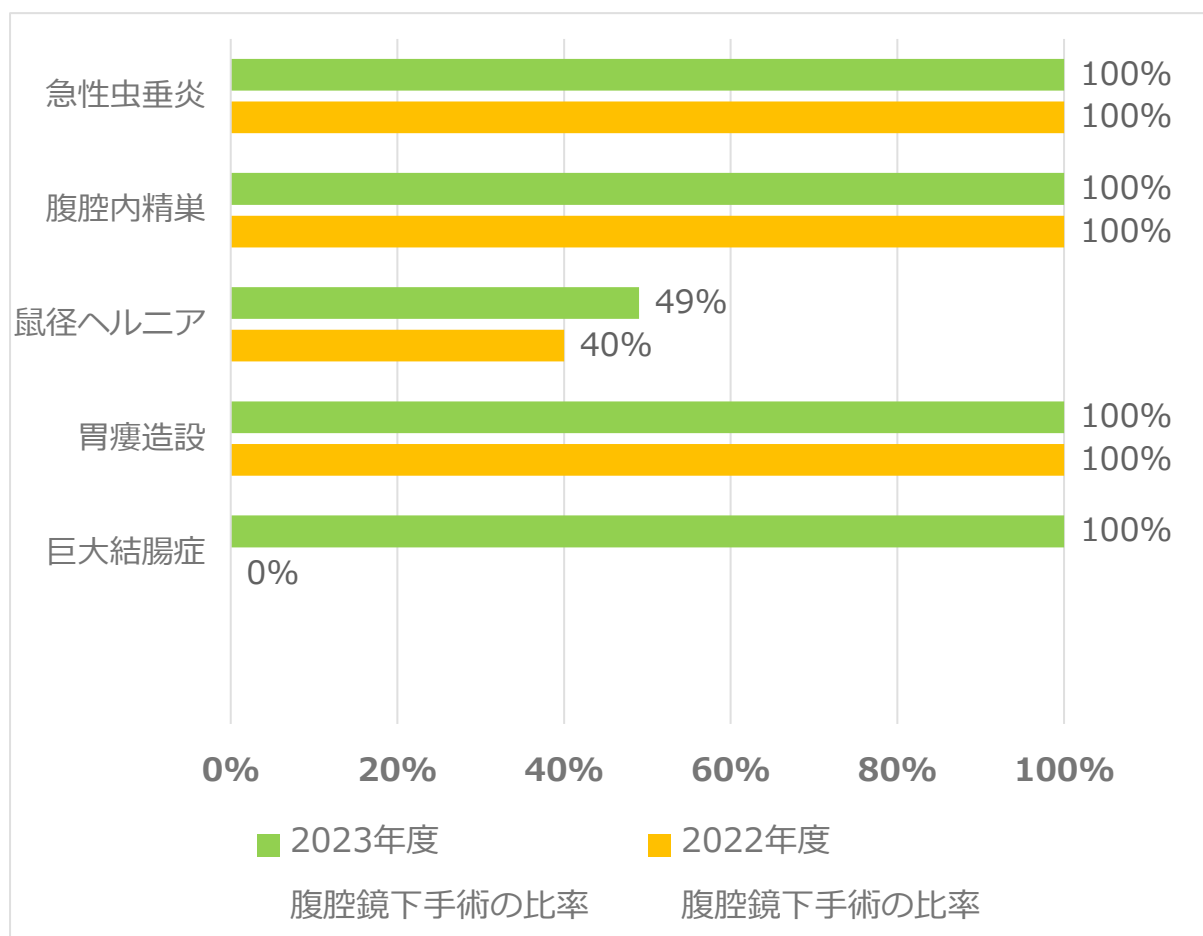
目標・ゴール

腹腔鏡下手術比率をさらに上昇させる

目標・ゴール達成による効果

腹腔鏡下手術の上昇に伴い紹介率の上昇が見込まれる

目標・ゴールに対する成果の状況



2020 年以降、腹腔鏡下手術数が増加し、特に急性虫垂炎・腹腔内精巣・巨大結腸症・胃瘻造設（新生児除く）の手術に関しては 100%腹腔鏡下手術となり、鼠径ヘルニアにおいても腹腔鏡手術の比率が上昇している。

目標・ゴール達成度

※該当項目に☑をつけてください

□S :大幅に目標を上回った

□A⁺:目標を多少上回って達成

☑A : 目標を達成

□B⁺:目標を少し下回った

□B :目標を下回った

□C :目標を大幅に下回った

□- :外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

さらに腹腔鏡下手術数を増加させるため、他疾患に関しても更なる腹腔鏡下手術の導入を進める。